

平成25年度 事務事業評価調査 [ソフト事業]

事務事業コード

13322001

平成25年度作成

平成24年度
実施事業

事務事業名

社会参加促進事業（社会参加等事業補助金）

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	3	障がい者福祉の確立
小分類	2	障がい者（児）の自立支援
主要な施策	2	②相談支援体制の充実
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 8 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	障害福祉グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	精神障がい者のボランティア活動支援と市民を対象とした手話通訳者・要約筆記者の養成等及びスポーツ・レクリエーション指導員の養成を図り、障がい者の社会参加活動の促進を目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	障がい者の社会参加活動等をボランティアにより支援する奉仕員等の養成及び精神障がい者のボランティア活動促進を図るため、養成経費の一部を助成する。 助成事業：精神障がい者ボランティア団体の助成・奉仕員養成研修事業、スポーツ・レクリエーション指導員養成事業 * 障害者自立支援法において、地域生活支援事業として位置づけられている。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	障がい者の社会参加活動等をボランティアにより支援する奉仕員等の養成を図り、障がい者の地域生活に必要な情報発信や通訳並びに社会参加活動の機会提供に資するとともに、精神障がい者のボランティア活動等を支援することにより、社会参加活動と自立更生を目指す。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	障害者自立支援法、同法施行令、登別市障害者社会参加等促進事業実施要綱

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称 障害者地域生活支援事業費補助金	千円	110	83	254	254	254
道支出金	名称 障害者地域生活支援事業費補助金	千円	55	42	127	127	127
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	93	75	129	129	129
事業費 合計			258	200	510	510	510

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 助成人数	人	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	2	0			
	② 助成団体数	団体	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1			

比較		《 Check 》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
事業を着実にを行うことにより、ボランティアの育成や、障がい者の地域生活支援体制等の充実が図れているが、一方で研修日程が平日に札幌等で組まれ、受講希望者が参加できない等の問題もある。	障がい者団体から、スポーツ指導員の養成について、要望があることから、ニーズにあったスポーツ種別の指導員養成を検討する。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見
	<input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
障がい者の社会参加や自立更生を支援する人材確保や精神障がい者の自主的活動支援に必要な事業であり、市が行うことは妥当である。		
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見
	<input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
障がい者団体から奉仕員や指導員の養成について、要望が寄せられている。		
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見
	<input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	
奉仕員や指導員養成はまだ少ない状況にあるが、着実に事業展開をし、障がい者自らの活動に対して支援体制強化が図られている。		
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見
	<input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	
会議や講演会などでの要約筆記や登別手話の会会員の資質向上、水泳の指導など効果が上がっている。		

①担当グループによる評価 《 Check 》

維持	左記の評価を選じた具体的な理由(根拠)	障がい者の地域生活を支援する人材の養成が必要であるため。
-----------	---------------------	------------------------------

②行政評価会議による評価 《 Check 》

維持	備考	
-----------	----	--